

難易度 C

平成 24 年 5 月実施過去問 (学科)

1. ライフプランニングと資金計画

問題 4

老齢基礎年金を繰り下げて受給する場合、繰下げ 1 カ月につき 1%増額された年金が生涯にわたって支給される。

解答：×

解説

繰り上げ受給→1カ月につき0.5%減額

繰り下げ受給→1カ月につき0.7%増額

減額および増額された年金が生涯にわたって支給されます。

問題 3 2

貸金業法の規定（融資額の総量規制）により、個人が借入できる無担保借入額の合計は、原則として、年収額の（ ）までである。

1) 3分の1

2) 2分の1

3) 3分の2

解答：1

解説

貸金業法により、借入残高が年収の1/3を超える場合、新たな借り入れができなくなります。

2. 金融資産運用

問題 4 4

10年満期・変動金利型の個人向け国債の適用金利は、（ ）ごとに見直される。
1) 6 カ月 2) 1 年 3) 2 年

解答：1

解説

個人向け国債（10年）は、半年ごとに金利を見直す変動金利を採用しています。

3. タックスプランニング

問題 1 9

所得税法における「非居住者」は、日本国外で生じた所得について納税義務を負わない。

解答：○

解説

非居住者とは、簡単に言えば日本に住所（居所）を有していない者をいいます。
この場合、日本国内で発生した所得のみに課税され、国外源泉所得については課税されません。